

～国際研修～

2008年度 インドネシア和解・調停制度強化支援プロジェクト 第2回本邦研修

国際協力部教官 渡部 洋子

第1 はじめに

本稿は、2008年7月7日から同月18日までの間実施されたインドネシア和解・調停制度強化支援プロジェクト第2回本邦研修の概略を紹介するものである。

第2 研修実施の背景

法務総合研究所国際協力部は、2002年度から、毎年1回、JICA 国別特設研修の枠組みで、インドネシアから司法関係者を招いて国別特設研修を実施している¹。

2008年度は、2007年度に引き続き、同年3月から2年間の予定で実施中の「インドネシア和解・調停強化支援プロジェクト」の一環として実施した。インドネシアにおいては、2003年9月に、民事訴訟法規定の裁判上の和解を活性化させるための手段として、第一審の冒頭手続で調停前置を定めた最高裁判所規則 PERMA2003 年2号を制定した。しかし、審理担当裁判官が調停人になれず、調停期間も非常に限定的であり、かつ調停人の資格制度も曖昧である等の問題点が存したため、和解・調停の実施は極めて低調であった。そこで、これまでの研修における成果を踏まえ、

- ① 日本の和解・調停制度を参考としつつ、同規則の改正を行うこと
- ② 調停人養成研修制度を改善すること
- ③ 改正規則及び新調停人養成研修制度の広報を行うこと

の三要素を柱とする本プロジェクトを実施することとなった。

本プロジェクト開始後、前記国別特別研修1回の実施のほか、JICA 長期専門家角田多真紀弁護士の現地改正規則ワーキンググループ等における助言や調整、裁判官出身で和解・調停の第一人者である草野芳郎学習院大学法科大学院教授や稲葉一人中京大学法科大学院教授を始めとする日本側アドバイザー・グループの助言や協議、現地セミナー2回²等の支援活動を行った。その結果、2008年4月に改正規則案がインドネシア最高裁判所裁判官会議に提出され、間もなく改正の運びとなるなど、着実に成果が上がり

¹ 2002年度につき ICD NEWS 第8号103ページ以下、2003年度につき ICD NEWS 第12号191ページ以下、2004年度につき ICD NEWS 第17号28ページ以下、2005年度につき ICD NEWS 第26号32ページ以下、2006年度につき ICD NEWS 第30号114ページ以下及び2007年度につき ICD NEWS 第34号146ページ以下の各教官作成のセミナー・研修実施報告参照。

² 2007年実施の第1回現地セミナーにつき、ICD NEWS 第32号219ページ以下の教官作成の実施報告参照。

つつあった。

そこで、研修員に日本の和解・調停技術及び調停人養成研修制度等に関し、より多くの知見を得る機会を提供することで、特に前記三要素中②及び③の一層の促進に資することを目的として、本研修を実施した。

第3 研修内容

1 研修員

現地改正規則ワーキンググループ、和解・調停促進のためのパイロット・コート設置裁判所及び調停人養成研修を担当する民間調停人養成機関に各所属する裁判官、弁護士等合計12名であった（別添1研修員名簿参照）。

2 研修内容

本研修カリキュラムは、以下の3種類に大別された（別添2日程表参照）。

- ① 和解・調停関係施設の訪問：日本弁護士連合会、東京弁護士会、日弁連交通事故相談センター、合同図書館、日本司法支援センター東京地方事務所、東京家庭裁判所、東京地方裁判所を訪問し、弁護士、裁判官、家庭裁判所調査官等との質疑応答、施設見学及び法廷傍聴等を通じ、日本における和解・調停をはじめとしたADR実践促進及び市民の司法アクセス推進等に関する最新の情報を得た。
- ② 和解・調停の専門家からの講義：草野教授から、日本における第一審及び上訴審における裁判官の和解技術と和解条項の作成留意事項につき紹介していただくとともに、和解の実演を行っていただいた。また、久保田三樹元首席書記官ほか2名の元首席・次席書記官に御参加いただき、和解・調停に際し書記官が果たす役割につきお話いただいた。さらに、稲葉教授から、医療事件における日本のADRの実情につき紹介していただくとともに、日本における調停人養成研修方法、特に調停人養成研修DVDの構成及び活用法につき紹介していただいた。
- ③ 研修員参加型カリキュラム：まず、研修員が裁判官役、原告・被告代理人弁護士役、原告・被告本人役に分かれ、草野教授作成の離婚事案を使い、和解のロール・プレイを行った上、裁判官役の研修員が和解条項及び和解の際争点となった事項を発表し、他の研修員、草野教授、久保田元首席書記官ほか2名の元首席・次席書記官及び平石努弁護士がコメントを加える等して、よりよい和解の在り方につき検討した。次に、稲葉教授作成の広告代理店と女優代理人間におけるポスター出演金額交渉事案等複数の事案を使い、研修員が調停人、申立人及び相手方に分かれ調停のロール・プレイを行った。その後、研修員、稲葉教授及び平石弁護士がロール・プレイで現れた成果及び問題点につきコメントを加える等して、よりよい調停の在り方につき検討した。

第4 終わりに

研修員は、積極的にかつ熱意をもって質疑やロール・プレイ等に参加しており、そのレベルも非常に高いものであった。そして、研修員は、「この研修を通じて、和解・調停技法や、調停人養成研修の主要な一方法であるロール・プレイの実施方法等に関し、

豊富な知見を獲得できた。是非成果を帰国後の実務に活かしたい。」旨述べた上、本研修で得たこれら知見の手控えをインドネシアに持ち帰った。以上のことから、本研修は研修目的を十分に達成するものだったと言えよう。

なお、本研修終了後の2008年7月末、改正規則が正式に発効した。今後は、インドネシア国内4か所に設置された前記パイロット・コートで和解・調停の積極的運用が開始される予定であるほか、新たに作成される調停人養成研修DVDを活用するなどして、裁判官及び書記官に対する研修複数回が実施される予定となっている。さらに、現地セミナーも昨年度に引き続き開催予定である。研修員は全員、和解・調停の実践者、調停人養成研修担当者もしくは本プロジェクトの進行統括者として活躍が期待されている立場にあることから、本研修で獲得した知見を今後の本プロジェクト進行で積極的に活用することが大いに期待される。

最後に、御多忙の中、長時間にわたり極めて密度の濃い内容の講義及び研修員参加型カリキュラムの実施に御尽力いただいた草野教授、稲葉教授、平石弁護士、久保田元首席書記官、須賀清元首席書記官及び重松紀美子元次席書記官、見学及び質疑応答に積極的に応じていただいた日本弁護士連合会、東京弁護士会、日弁連交通事故相談センター、合同図書館、日本司法支援センター東京地方事務所、東京家庭裁判所及び東京地方裁判所の皆様方（日程上の訪問順）、本研修の全日程に同行され、有効かつ適切なアドバイスを臨機応変にいただいた角田長期専門家、当部と協力し懇切に本研修進行に対応されたJICA公共政策部、東京国際センター及び研修監理員の皆様方、そして財団法人国際民商事法センターの皆様方に厚く御礼申し上げたい。

第2回 インドネシア和解・調停制度強化支援研修日程表

[主任教官:渡部教官, 事務担当:稲元主任専門官, 西林主任専門官, 福岡専門官]

研修実施場所:法務省法務総合研究所(赤れんが棟), JICA東京国際センター(TIC)

月日	曜日	10:00	12:30	14:00	17:00	備考	場所
7/7	月	JICAオリエンテーション 9:30-11:30		ICDオリエンテーション 11:30-12:30 TIC SR16	講義 医療紛争のADRについて 講師 中京大学法科大学院教授 稲葉 一人 TIC SR16		TIC
7/8	火	日本弁護士連合会訪問 (日弁連の諸活動に関するブリーフィング及び質疑応答) 12:00	10:00- 日本弁護士連合会	東京弁護士会訪問(医療ADRに関するブリーフィング及び質疑応答, 仲裁センター見学) 13:00-16:00 東京弁護士会	交通事故相談センター見学 16:00-16:30 合同図書館見学 16:30-17:00		弁護士会館
7/9	水	江戸東京博物館見学 10:00-		日本司法支援センター東京地方事務所訪問 (ブリーフィング及び質疑応答) 13:15-			
7/10	木	東京家庭裁判所訪問 (ブリーフィング及び質疑応答) 東京家庭裁判所		東京地方裁判所訪問 (ブリーフィング及び質疑応答, 法廷傍聴, 調停部・医療集中部見学) 東京地方裁判所			裁判所
7/11	金	Case Study 和解事例に基づく和解技術・和解調書作成上の留意点(午前:1審, 午後:控訴審) 講師 学習院大学法科大学院教授 草野 芳郎			法務総合研究所共用会議室		法総研
7/12	土						
7/13	日						
7/14	月	講義 和解・調停を促進するための日本の書記官の役割 講師 学習院大学法科大学院教授 草野芳郎, 首席書記官 久保田三樹, 元首席書記官 須賀清	元 TIC SR18	演習 模擬和解(草野教授及び日本人による模範模擬和解) (裁判官:草野教授, 書記官:須賀元首席書記官, 原告代理人:角田専門家, 被告代理人:平石弁護士, 原告:ICD教官, 被告:ICD専門官) 講師 学習院大学法科大学院教授 草野芳郎, 元首席書記官 久保田三樹, 元首席書記官 須賀清, コメンテーター 弁護士 平石 努	TIC SR18		
7/15	火	演習 模擬和解(研修員によるロール・プレイ) 講師 学習院大学法科大学院教授 草野芳郎, 首席書記官 久保田三樹, 元首席書記官 重松紀美子	元 TIC SR16	質疑応答・自由討議 講師 学習院大学法科大学院教授 草野芳郎, 元首席書記官 久保田三樹, 元首席書記官 重松紀美子	TIC SR16		
7/16	水	調停人養成研修教材(DVD)作成のためのロール・プレイ① 講師 中京大学法科大学院教授 稲葉 一人 コメンテーター 弁護士 平石 努			TIC SR16		TIC
7/17	木	調停人養成研修教材(DVD)作成のためのロール・プレイ② 講師 中京大学法科大学院教授 稲葉 一人 コメンテーター 弁護士 平石 努		TIC SR18	演習 模擬調停 講師 中京大学法科大学院教授 稲葉 一人 コメンテーター 弁護士 平石 努	TIC SR18	
7/18	金	評価会 (10:00~11:00)	帰国後作業に関するブリーフィング JICA本部 星 長期専門家 角田 多真紀	閉講式 (12:00~12:30)	資料整理	TIC	
7/19	土	帰国					